

SNMPポーリング遅延

内容

[SNMPポーリング遅延](#)

[ICSeverity](#)

[影響](#)

[説明](#)

[Syslogメッセージ](#)

[メッセージサンプル](#)

[製品ファミリ](#)

[正規表現](#)

[推奨事項](#)

[コマンド](#)

SNMPポーリング遅延

ICSeverity

5 - お知らせ

影響

MIB応答が遅延している。

説明

簡易ネットワーク管理プロトコル(SNMP)は、優先順位の低いネットワーク管理プロトコルです。このメッセージは、SNMPディスプレイからユーザへの通知メッセージで、SNMP応答時間がデフォルトのしきい値を超えたことを通知します。これは、MIBで高価で時間のかかるOIDをポーリングしている間、または同時に多数のOIDをポーリングしている間に発生します。通常、このエラーメッセージは、遅延が発生しているOID/MIBを示しています。次の例を参照してください。SNMP-3-RESPONSE_DELAYED: cefcFRUPowerStatusEntry.1のGetNextの処理(# msec) SNMP-3-RESPONSE_DELAYED: ciscoFlashFileEntry.1のGetNextの処理(# msec) SNMP-3-RESPONSE_DELAYED: cefcFanTrayStatusEntry.1のGetNextのの処理(# msec) ログは情報ログであるため、無視することも、ログを完全に削除することもできます。ただし、ポーリングがビジネス目的で行われる場合は、デバイスに照会できるホストを制限するか、ポーリングできるOIDを制限するか、またはその両方を検討する必要があります。

Syslogメッセージ

SNMP-3-RESPONSE_DELAYED

メッセージサンプル

Jan 31 15:00:19.270 EST <> %SNMP-3-RESPONSE_DELAYED: processing Get of ifHCInOctets.394344 (19164 msec)

製品ファミリ

- Cisco Catalyst 3650 シリーズ スイッチ
- Cisco Catalyst 3850 シリーズ スイッチ
- Cisco Catalyst 9200 シリーズ スイッチ
- Cisco Catalyst 9300 シリーズ スイッチ
- Cisco Catalyst 9400 シリーズ スイッチ
- Cisco Catalyst 9500 シリーズ スイッチ
- Cisco Catalyst 9600 シリーズ スイッチ
- Cisco Catalyst 6800 シリーズ スイッチ
- Cisco 4000 シリーズ サービス統合型ルータ
- Cisco ASR 1000 シリーズ アグリゲーション サービス ルータ
- Cisco Catalyst 3750-X シリーズ スイッチ
- Cisco Catalyst 2960-X シリーズ スイッチ

正規表現

N/A

推奨事項

このエラーを引き起こす可能性のある既知の不具合がいくつかあります。修正済みリリースを実行していてもこの問題が発生する場合は、次の手順を実行してエラーを回避します。コマンド「show proc cpu sorted」の出力をチェックして、CPU使用率が高すぎず、デバイスが最適に機能していることを確認できます。「show proc cpu | i SNMP Engine」コマンドを実行すると、SNMPエンジンが受信した要求を処理しているために生じる使用率も表示されます。Device# show process cpu sort CPU utilization for five seconds: 99%/0%; one minute: 22%; 5minutes: 18% PID Runtime(ms) Invoked uSecs 5Sec 1Min 5Min TTY Process 189 1535478456 697105815 2202 88.15% 13.40% 8.74% 0 SNMP ENGINE <<このプロセスで1分以上続くCPU上昇は、ポーリングが過剰であることを示していますを参照してください。数秒間しか持続しないCPUスパイクの上昇はしばしば予想され、心配する必要はない。SNMPは優先順位の低いプロセスと見なされ、より重要なプロセスがCPU処理を必要とする場合は、CPU処理が発生する可能性があります。コマンド「show snmp stats oid」の出力を調べて、ポーリングされている上位のOIDを確認できます。グローバルコンフィギュレーションモードで次のコマンドを使用して、SNMP MIBの応答しきい値制限値を増減できます。snmp monitor response threshold-limitしきい値制限は1000 ~ 5000ミリ秒の間の任意の値に設定でき、影響を与えない変更です。遅延時間が5000ミリ秒未満の場合、デフォルトの2000ミリ秒を超えて増加すると、問題のデバイスが特定のSNMP要求に応答するためにより多くの時間が与えられます。設定コマンド「no snmp monitor response」を使用

することもできます。このコマンドを使用すると、応答時間としきい値を比較するメカニズムが無効になり、SNMP遅延syslogを表示できなくなります。遅延したMIBに対するSNMP要求、および後続の要求は引き続きタイムアウトする可能性があります。この場合、システムではログを印刷できません。最後に、特定のOIDが問題を継続的に引き起こしている場合は、SNMPビューでOIDをブロックできます。グローバル設定例：snmp-server view TAC iso included snmp-server view TAC 1.3.6.1.4.1.9.9.91.1.1.1.1 excluded snmp-server community view TAC RO

コマンド

#show version

#show module

#show proc cpu sort

#show run | s snmp

#show snmp

#show snmp stats oid

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。